

議会のあり方調査特別委員会 議会ICT検討分科会 記録

開会年月日	令和4年12月19日
開会時刻	午前11時13分
閉会時刻	午前11時51分
出席委員名	◎北村 勝 ○宮崎 誠 三野泰嗣 川口 浩
	吉井詩子 岡田善行 福井輝夫 吉岡勝裕
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 議会のデジタルデバインド対策について ・伊勢市議会パソコン用語集について
	2 議会におけるペーパーレス化について
	3 オンライン会議について
説明員	森田書記

会議の概要

北村会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「議会のデジタルデバインド対策について」外2件を順次議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

協議の内容

1 議会のデジタルデバインド対策について

「伊勢市議会パソコン用語集について」を議題とし、会長から、パソコン用語集について、会派・議員からの意見をもらい、必要に応じて追記していきたいと考えている旨の発言があり、意見を求めたところ、特に意見なく、この程度とした。なお、本件については、会長から、これ以降も意見があれば正副会長または議会事務局に連絡がほしいとの発言があった。

2 議会におけるペーパーレス化について

資料1のとおり、スケジュール案（令和5年6月定例会から並行運用を開始、10ページ以上ある議案・資料については選択制であるが、紙資料の配付を可とすること）が示され、議会事務局から説明があった。その後、会長から改めて令和5年6月定例会の並行運用に向けて進めていく旨の提案があった。このことについて各委員からの意見を求めたところ、下記のとおり発言があった。協議の結果、今後のスケジュールとしては、当局から試行期間として資料のデータ提供がある予定であること、正副会長がこれを受けてペーパーレスへの移行が可能と判断した場合、上記のスケジュール案どおり全体会へ提案したい旨提案したところ、特に異議なく、確認された。

【発言】

- ・吉岡委員「このスケジュールで進めてもらえればよい。（10ページ以上の議案・資料を選択制としたことについて）ペーパーレス化についてはやってみないと分からない、できるだけ紙が要らない方向でやっていかないといけない。本格運用をスタートするまでの期間でいろいろやってみたいと考えている。よそはそうやって（完全ペーパーレスで）やっているの、なるべく時代についていくなからペーパーレス化を図っていきたい」
- ・三野委員「スケジュールについて問題はない。予算・決算書はデータでも使ってみてもいいのでは」
- ・吉井委員「スケジュールについてはこれでよい。以前（広報検討分科会で）モバイルWi-FiやSideBooksなんかはお金がかかるため導入しないという議論があったが、いろいろ進んできたので改めて検討が必要なのでは」
- ・福井委員「スケジュールについて反対はない。ページ数が多い議案のデータを画面上で見える場合、すぐに見たいページが見れるのか、またメモ書きができるのか、やってみないと分からないと思うが、その辺が心配」
- ・岡田委員「スケジュールはこういう形でやっていかないとしょうがない。システムは書き込みがかなり重要である。システムは以前に比べて種類が増えてきているため、内容を見て改めて検討すべき。やれるものは進めていって、できないもの

は変更していったらどうか」

- ・川口委員「スケジュール、ペーパーレス化の対象については異論はない。とりあえず進めていくことが大切である。使いにくさを感じる方もいる。そういう方の意見を拾えるようにしていけばよい」

3 オンライン会議について

会長が11月24日（各会派）及び11月29日（自宅）での接続テストに多くの議員の参加により、無事に接続テストを終えることができた旨お礼を述べた。

「Zoom」については、参加者全員がある程度理解できたであろうことから、他のオンライン会議用ソフトも使用し、伊勢市議会としてどのオンライン会議ソフトを使用していくのか検証してみてもどうかと考えている旨の報告があった。その後、議会事務局において資料2についての説明があり、協議の結果、「Webex Meetings」、「Microsoft Teams」、「Google Meet」の検証を行うことが確認された。なお、検証時期については、改めて決定し、委員に通知することとなった。

上記署名する。

令和4年12月19日

会 長